

水、食品、環境の汚染を調べて 健康リスクを解析する技術

キーワード 食の安全, 環境汚染, 健康リスク

3

すべての人に
健康と福祉を

4

質の高い教育を
みんなに

6

安全な水とトイレ
を世界中に

■ 研究概要

食中毒事件や放射性物質による環境汚染、新型コロナウイルス感染症流行を背景に、水や食品、生活環境の安全安心に世間の関心が集まっています。日々の生活の中で健康が害されるリスクがゼロでないことを、多くの人が感じているのではないのでしょうか？

この研究では、水や食品の他、大気や土壌などの環境に含まれる汚染物質を調べる技術や、そのデータから健康被害のリスクを解析する技術を開発しています。同時に、そのリスクを低減するための対策（栽培技術の工夫、製造プロセスの見直し、環境浄化技術の導入や開発など）の検討も行っています。

バイオハザード実験施設

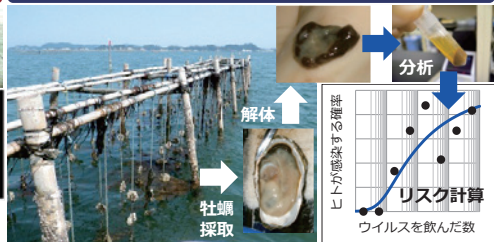


病原微生物を取り扱うことができる特別な実験室を有しています。下水などの環境中の新型コロナウイルスの検出と、感染リスクの評価にも挑戦しています。



水や食品などから重金属などの有害物質を検出することも可能です。ご相談下さい。

研究例：牡蠣のノロウイルス汚染による感染リスク



上図：高精度な分析技術で牡蠣からウイルスを検出することで、胃腸炎のリスクが計算できます。
左図：ノロウイルスに汚染されにくい牡蠣を選別する手法も、現在開発中です。

■ どのような共同研究・連携に結びつけられるか？

- ・安全、安心な食品を製造・加工するためのプロセスの見直し
- ・農畜水産物の安全性の評価、それを向上させるための対策
- ・その他、環境汚染や健康リスクに関わる研究

渡部 徹 教授 WATANABE, Toru

専門分野：水環境工学・環境リスク評価
E-mail : to-ru@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

